

会 議 録

1 会議名

第1回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 地域活動支援事業について（公開）

・提案事業に関する概要説明及びヒアリング

3 開催日時

平成26年5月22日（木）午後6時から午後8時30分まで

4 開催場所

公民館津有分館 2階 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：上杉勉、太田晃、小川和夫、菅野敦司、手嶋千恵子、服部香代子、
平岡一夫、古川三男、牧繪雄一郎、牧野嶋剛、町田敏章、
丸山彰、丸山美和子、丸山百合子、横田芳友

・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容

1 開 会

【小林主事】

それでは、定刻になりましたので、平成26年度第1回津有区地域協議会を開催します。本日の出席人員は15名です。欠席は、草間委員から連絡をいただいております。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

2 会長挨拶

【小林主事】

はじめに、町田会長からご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますします。

【町田会長】

皆さんどうもご苦労様でございます。本日は、平成26年度の最初の地域協議会ということになります。勤務後のところ、お疲れだとは思いますがよろしくお願いいたしますと思います。それから、本日の関係につきましては地区から9件の提案がありまして、合計で皆さまのお手元に届いておりますが、748万3千円という内容でございます。それから当地区への予算配分額につきましては、590万円ということでございます。従って配分額に対しまして提案をされている額が158万3千円ほどオーバーしているということになります。

それで、各提案につきまして、よく聞いていただきまして審査の方をよろしくお願いいたしますと考えております。それで皆さんも今年で3年目ということになりますので、審査の基準についてはよく御存じだとは思いますが、成果が広く地域に還元されるかということで、公益性が通常の採点の2倍ということで10点ということになっております。それから、参加性及び将来に対する発展性は1.5倍に加算ということでございます。このような視点から今日のヒアリングの内容説明等を見てもらいたいと思っております。

最後になりますが、津有区のこれからの活性化とよりよいまちづくりの視点を見ながら色々と発言内容を聞いていただければよいと思いますので、よろしくお願いいたしますします。

【小林主事】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきたいと思います。町田会長、よろしくお願いいたします。

【町田会長】

それでは、以降の議事進行を務めてまいります。座って進行を進めていきます。先ほど、今日のヒアリングの予定についてお話がありましたけど、今日の終了時間は概ね8時30分と予定しておりますので、スムーズな進行にご協力お願いしたいと思っております。それから、本日の議事録の確認ですが、本来は草間委員でしたが、今日欠

席ということでございますので、菅野委員にお願いしたいと思っております。

3 議 題

【町田会長】

それでは議事次第に従いまして、地域活動支援事業について、進めたいと考えています。はじめに事務局から津有区の提案状況につきまして、報告をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

【小林主事】

－ 提案状況について説明 －

【町田会長】

はい、分かりました。皆さんの方から今の件につきまして、何か質問等ございましたらお願いします。ないようであれば、ヒアリングに入っていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(よしの声)

【町田会長】

それでは、今ほど事務局から説明がありましたヒアリングの関係ですが、最初に受付順ということで、野尻・稲の福寿会から提案をいただきました「津有—1 野尻・稲地区高齢者いきいき事業」につきまして、これからご説明をしていただきたいと思います。本日は多忙のところ、出席いただきまして、ありがとうございました。

これから、津有区の活性化の為に、今ほど申し上げました提案していただいた件につきまして感謝申し上げますと同時に、このヒアリングは、私共委員16名なのですが、今日一人欠席ですけれども、この提案を正しく理解し、公正公平に審査するためにご協力を願っているところでございます。これから2分程度で事業提案。それからアピールすることにつきまして提案者からご説明いただきまして、その後質問があれば質問させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速提案者の方、ご説明をお願いします。

－ 「津—1 野尻・稲地区高齢者いきいき事業」 提案者着席 －

－ 事業概要を説明－

【町田会長】

今ほどの福寿会の活動につきましては、皆様ご理解できたと思いますので、あとは時間が限られていますので、ここに提出されている文書につきましては皆さんよく熟読していますので、一応説明は今の段階で皆様ご理解いただけたのではないかなと思います。話の途中で申し訳ありませんが、説明はこれで終わらしていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。得に付加しなくてはいけないものがあれば別ですけど、質問させていただいた中でお答えいただくということでもよろしいでしょうか。

【提案者】

はい、わかりました。

【町田会長】

では、その様にお願ひ致します。私の方で最初に何分という話しをしなくて申し訳ありませんでしたが、よろしくお願ひします。

それでは、皆様ご質問があればしていただきたいと思いますが、私がこの内容を読ませていただいた段階で、高齢者の健康維持や趣味のための講話の開催というふうなことがここに載っているのですが、今の段階でどういう内容でやっていかれるのかということは確定しているのでしょうか。

【提案者】

はい、5月には花壇。春苗の植栽。また、8月には神社の清掃、草取り。この子供会ともう20年来やっております。それから9月には県下一斉の奉仕出しということで、これは毎年50人位参加しております。その後、必ずお茶会というのがあります。その中で、できれば講話。たまに市から呼んだり、目で見られるテレビであったりとか、ウェブを利用した形の物にもっていったらという形で、いつでもできる状況であります。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

はい、常に終始、人を増やして、皆でお茶会をする。もちろん、この後2月、3月になると「輪投げ大会」がありますが、その前後に練習を行ったり、終わってからお茶会。そういった時にテレビを見て、色んなお話会をすると、今すぐにでもできる状態でございます。

【町田会長】

はい、ありがとうございました。他に委員の皆さんで何かご質問等ありましたら、お願いします。

【牧繪委員】

よろしくをお願いします。テレビ、DVDプレイヤー等の設置場所はどちらになるのですか。

【提案者】

とりあえず、稲村公民館に設置して、役員会等全部交互で、野尻でやったり、集落センターでやったり、稲公民館でやったり交互でやっていますので、あまり機会を逃すことはよいことではないという感じもしますので、その辺も自治体と相談しながら、できれば身近な方へ移動したりするか、あるいはもう一台買うか、このように考えております。

【町田会長】

はい、よろしいでしょうか。

【牧繪委員】

はい、わかりました。

【町田会長】

他にいかがでしょうか。

【丸山美和子委員】

ここに「輪投げ大会」とありますが、子供会も一緒に輪投げ大会ですか。

【提案者】

いえ、とりあえず老人会だけです。子供会は神社の清掃だけです。

【丸山美和子委員】

わかりました。

【町田会長】

他にいかがでしょうか。

【横田委員】

ここに構成員数94人と書いてございますが、この内全員が出席すれば一番よいのでしょうかけれど、大体この活動に対してどのくらいの出席を見込んでいただけますか。

【提案者】

寝たきりの人も含めて、大体130人位います。野尻・稲でね。その内、老人会の

会員になっているのが、昨年は105名。今年は94名。というようなことで昨年6人亡くなりました。その他に、8人が退会しました。それから3人が新たに入会しました。退会にいたっては、役員になる前の年に辞めてしまうのです。やりたくないから。まあ、今回も私の同級生と一緒にやろうとしたんですが、もう前年に辞めました。従って、私の同級生は私だけ。彼も私よりも一つ下。一つずつ下がっていきこうと。

【横田委員】

私の質問に答えていませんが。

【提案者】

50人位。先ほど申しあげました清掃には50人出ております。

【町田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、時間も押しているようですので、特段無ければこれで、この件につきましては終わりにさせていただきたいと思います。宜しいでしょうか。

(よしの声)

ありがとうございます。

— 「津－2 津有地区 地域づくり協議会」 提案者着席 —

【町田会長】

— ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） —

【提案者】

— 事業概要を説明 —

【町田会長】

はい、どうもありがとうございます。それでは委員の皆さんからご質問いただく前に私の方で確認をさせていただきたいと思います。今程お話がありましたように、津有区全体に関わる事業であるという内容でございまして。これは昨年と同様の内容と考えております。この提案につきましては毎年提案していただいていることについて感謝申し上げます。それから、一点教えていただきたいと思っておりますのは、「4生活環境改善学習会」の行き先が昨年と変わっていると思うのですが、今回の行き先選定の目的と、昨年度行かれた参加者は何人くらいで、行かれた感想等あれば披露してもらえるとありがたいと思います。

【提案者】

昨年度は魚沼の塩沢、「牧之通り」を見学、視察をさせていただきました。これは、商工会の皆さんが自分の住んでいる町を、自分達の力でよりよいものにしていこうという、その姿勢・熱意、そういうものを町づくりの整備の中から私たちは感じ取ることができました。やはり、私たちはそれをコピーしてもってくるのではなくて、その人たちがどのような思いをもって、地域の中で生きようとしているのか。町をよくしようとしているのか、生活を変えようとしているのか、改善を計ろうとしているのか、そういう人の熱意を感じ取ることができ。その中からやっぱりヒントというか、私達もそのような思いをもって、この地域に住んで津有区を考えていかななくてはならないというような思いは受け止めることができました。

ですから、これは一度で終わることにするより、やはりもう少し私たちは力をつけていきたいという思いで、今回は松代のNPOの皆さんが非常にこのまちづくりについて、生活環境について強い取り組みを行っていらっしゃるということをお聞きしまして、是非その力を少しでも汲み取ればという思いで、計画をさせていただきました。

去年は、35名程の参加をいただいております。

【町田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、委員の皆さんよろしくお願ひします。質問等ありましたらお願いいたします。

【牧繪委員】

内容ではないのですが、「広報つあり」の見積もりが1枚しかないのですが、相見見積もりが基本だと思うのですが、もう一ヶ所見積もりがあった方がよいと思います。

【提案者】

そうですか。それは行政の方とご相談させていただきたいと思いますが、やはり私たちはこの地域に住んで、地域の事業というか皆さんと関わりを高めていきたいなという思いで、できるだけ地域の事業所の皆さんのお力をお借りしたいという思いで見積もりを取らせていただいておりますが、1社では比較にならないということであれば、追加で検討させていただきたいと思います。

【町田会長】

これは多分10万円を超えると2社ということですので、これは7万くらいという

ことで多分1社ということで、センターはオッケーされたと理解しています。

【牧繪委員】

はい。

【町田会長】

他にどうでしょうか。

【小川委員】

大変ご苦労さまです。細かい話で申し訳ないんですが、収支計画関係で一般財源が3万円。私の考えだとこれは「健康ウォーク」の開催の参加者負担金相当額かな、と
思っていたのですが…イエスカノーかだけで結構ですが。

【提案者】

はい、小川委員がおっしゃるように、お弁当代。この視察も含めたお弁当代等は自費でございますので、そのような形で考えております。

【町田会長】

他の皆さんどうでしょうか。よろしいでしょうか。

私から一点だけ教えてほしいのは、生活環境改善学習会の中の、視察資料代というのが、40名で一人千円と、それと資料代としては、なからどんな資料なのかなと、千円というと、ちょっとした冊子みたいなのかなと思って。伺いたいと思ったのですが、いかがでしょうか。

【提案者】

これは、NPOで視察を受け入れる条件として一人千円ということが明記されております。それで、その千円の視察資料代を納めることによって、活動の冊子を一冊ずついただけるとお聞きしております。

【町田会長】

そうですか。ちょっと額が高かったものですから。

はい、他にいかがでしょうか。それでは、他にないようですので、これでこのヒアリングを終わりにさせていただきたいと思います。

【提案者】

どうもありがとうございました。よろしくどうぞお願いします。

【町田会長】

それから、現地確認のほうもこれは、問題ないと思いますので、先ほども現地確認

しなかったものですから、どうもありがとうございました。

－ 「津－3 H26津有北部スポーツクラブ 夏祭り事業」 提案者着席 －

【町田会長】

－ ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） －

【提案者】

－ 事業概要を説明 －

【町田会長】

わかりました。それでは質問させていただきますけども。その前に内容の確認というか、活動内容については昨年とほぼ同様というふうに考えてよろしい訳ですよ。

【提案者】

はい、という訳です。

【町田会長】

それから、昨年度は確か祭半纏を30着程購入されたと思っているのですが、使われた感じとかについて教えていただきたいです。また、今回は活動に必要な備品の購入ということになるのだろうと見ているのですが、この中に手動式のアイスシェーバーですか、それ1台。それから鉄板焼き2台ということなのですが、これにつきましては昨年も同じような事業をされている訳ですので、どのように対応されてきたのか。その2点を教えていただきたいと思っております。

その後、各委員から質問をさせていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

【提案者】

昨年は夏祭り用にはテントと祭半纏を購入させていただきました。テントについてはグラウンドのところに設置し、小さい子どもが結構おりましたので、そちらを休息所等に使わせてもらいました。

祭半纏は時期が時期で暑かったのですが、地域の人が見て「スポーツクラブの人」だということが祭半纏で分かったので、無償で皆さん、汗もかきながらやられていますので、「まあ大変でしたね」と声をかけていただき、スポーツクラブを身近に感じていただけたと思っております。

あと、備品ですが個人の方に色々ご迷惑をかけながら、鉄板焼き等お借りしました。また、アイスシェーバーですが、かき氷を作る調理機なのですが、氷屋さんのほ

うからリースで借りていますので、リース料の方が高くほとんどリースと材料費で終わってしまうような状況で、営利でやっている訳ではないですが。夏祭りの予算が予算なもので、そんなに地域の皆さんの会費の値上げは考えられないので、何とかあるだけの会費でこれからやりくりしようとは思っています。以上です。

【町田会長】

他の委員の方。何かありましたら、ご質問して下さい。

【古川委員】

今、お話が出ました参加者から会費を取っていますか。夏祭りに関しての飲食と言いますか、焼き肉とかそういう。

【提案者】

はい。会費と申しますか、売店の例えば品代ということですか。若干なりにうちの方で材料を仕入れて、極力、低価格と言ったらいいですか、逆に言えば営利でやっている訳ではないので、足が出ないように、という感じで安く皆さんに提供している次第であります。以上です。

【町田会長】

古川委員、それでご理解できたでしょうか。

【古川委員】

はい。

【丸山彰委員】

今の話ですが、備品はよいのですが、飲食については運用面で使っていない訳ですよ。飲食物等については。

【提案者】

そうですね、市販のジュースとか、飲み物についてはジュース、ビール、それは、安く仕入れています。あとは、フランクフルトとかその辺の焼き物については公民館で作って、それを持って行っては、子どもたちが食べるとかそんな感じにしております。

【古川委員】

そういうことではなくて、この41万円の備品の中で、飲食等について一緒に運用、例えばこの中で焼き肉を買うとか、そういうことはないですね。

【提案者】

それはありません。あくまでも備品です。

【古川委員】

そういうことですね。

【提案者】

そういうことです。

【町田会長】

他にいかがでしょうか。

【小川委員】

どうも御苦労さまです。何回読んでも分からない点が2つあります。

1つは一般会計決算書、25年度ですね。これをそのまま、直近の会計収支決算に載っておりますけども、これは団体の全体の一般会計かなと思います。この特別にこれを購入されるための会計関係が、あるようなないようなお金なんです。ここらは、特別会計等でこれらについての会計の何かあるかないのか。

2つ目は昨年度もそうですが、一応高額な事実上のいわゆる公物を所有される訳でございますので、広範な大きなクラブですので、これらの管理規則あるいは管理規制等があるのか。あるいは、なければ何でないのか。それらの若しくは、あればこの2点について分かりやすくお願いをいたします。

【提案者】

特別会計ですが、それについては当時、市の方から毎年毎年10万円、クラブ発足から5年間です。毎年10万円の補助ということで、それがまたなくなって、最終的には8万円位になって、5年間で一応打ち切られるということで。その会計をこれから先事業費等かかるだろうということで、極力切り詰めた関係で、そのお金はまあとりあえず全部これからの事業費のために、貯蓄っていいですか。そういう形で回すために特別会計にあえて、今後の事業を円滑にするために、そういうふうに使うつもりで押さえてありますし。で、備品を買うためのあくまでも特別会計ではありませんので。逆にいうと、収入では一戸あたり400円ですか。約33万円程度の収入になるのですが、実際のかかったお金はそれよりも40万円くらいですかね。結構毎年毎年10万円ずつ食っていますので、そちらに会費を値上げすることなく、そちらの方に充当するのに特別会計の方からもってきております。

あと、備品の関係ですが、備品の関係については、うちで管理簿を作って他のあの、

去年ですか。テント、あとハッピーその前に格納庫等この事業で購入させてもらいました。その中で一応管理簿等を作成して、これからもし貸出等についてはスポーツクラブの方で貸出簿と、各町内会にスポーツクラブの委員がいますので、それらの方が貸出に関しては責任持って、貸出を行うと。あと、管理簿については、きちんとした管理した形で作成したいと思っております。

【町田会長】

そうですか。わかりました。小川委員、それでよろしいでしょうか。

【小川委員】

このくらいにしておきますか。

【町田会長】

他の委員の方どうでしょう。時間も押しているようですので、それではこの提案につきましては、以上で終了とさせていただきたいと思います。それから、この件に関しても現地確認は必要ないのではないかなと思っておりますので、これで終了させていただきたいと思います。どうも、ありがとうございました。

－ 「津－5 上雲寺小学校創立140周年記念事業」 提案者着席 －

【町田会長】

－ ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） －

【提案者】

－ 事業概要を説明 －

【町田会長】

ありがとうございました。それでは、委員の皆さんに質問いただく前に、私からお話をさせていただきたいと思っております。

この事業につきましては上雲寺小学校区の記念事業ということで、大変良いことではないかなと思っております。多くの住民も参加できる訳ですので、大変良い提案だと考えております。それで、ただですね、提案件数が9件ございまして最後にその配分額に対してですね、約160万円オーバーしているわけございまして、今回の提案の中で2番目に高額になっています。従って、このまま受けるかどうかというのはなかなか厳しいと思っております。最初に減額が可能かどうかということ、きついようですが一点確認させていただきたいと思っております。

それから陶板の作成、オルゴール、クリアファイル、記念誌要覧。この中でオルゴールが550個で、クリアファイル・記念誌要覧が700枚ということで、これの根拠がどんなものなのかなということで、この2点を教えていただきたいと思っております。

【提案者】

予算の減額ですが、最寄会で4点を挙げたということで、どれを削るかというのは、なかなか難しいと考えております。それと枚数ですが、一応クリアファイルについては700枚、オルゴールについては550ということで、オルゴールについては津有南部地区の世帯に配るといような形になりますし、クリアファイルについては、当然10月に式典がございます。そこらへんも含めて、参集者それから学校の歴代の先生方がございますので、その方々に差し上げたいということで700枚という数字を挙げさせてもらっています。

【町田会長】

はい、わかりました。他の委員の方、ご質問等お願いいたします。

【牧繪委員】

140周年記念ということですが、地域として寄付を募ったりそういうことはしますでしょうか。

【提案者】

昨年から、今年140周年ということで校区の皆さんから寄付をいただきました。並びに事業所等から寄付を募りまして今現在、190万ほどの予算。予算といいますか、資金が集まっております。で、この使い道ですけども、一応教室と校舎の環境整備の関係で、だいぶ小学校も古くなってきていまして、ランチルームのスピーカー、それから体育館の放送施設。だいぶ古くなっておりますので、ここら辺を整備したいと考えているところでございます。

【町田会長】

はい、それでよろしいですか。

【牧繪委員】

はい、よいです。

【古川委員】

今説明があった昨年一戸あたり2千円寄付というのは、実行委員会の話ですかね。

【提案者】

そうですね。最寄会というか、140周年実行委員会という形の中でいただいた金額でございます。

【町田会長】

古川委員、それでよろしいでしょうか。

【古川委員】

はい。

【町田会長】

他にいかがでしょうか。

【小川委員】

企画内容見せてもらいまして、大変良い企画内容でございます。関係の皆さん本当に大変でございますが、頑張ってみてください。

で、2つ目ですが、陶板作りがでございます。大変よい、特にまた目新しくてよいような気がします。ちなみに中郷の公民館ですね、当時の知事のものが。数がこことまた比較になりませんが、400から500と聞いております。それがまたその施設にはちょうどふさわしいかなと思ったのですが、私は全く素人で分からんのですが、せっかくだのでもうちょっと数を増やして、簡単にはこんなこと言えないのですが、もう少し大々的にやれたら、さらにさらによくなるのではないかなと思います。これは私の全く越権行為の喋りで申し訳ないのですが、当初は250でスタートがよろしいんですかね。質問でもなくて悪いのですが。そういう事例もありますので喋ったしだいです。以上です。

【町田会長】

その件については児童が80人、保護者が58人、地域住民が112人の応募。地域住民に対して112人が応募するのだそうです。従って、小川委員も応募されるかわかりませんが、明日集計が出るそうですが、私は反対に250までいくのかどうか心配しているのが実情でございます。その辺は、いかがでしょうか。

【提案者】

まだ手元に町内の分が集まっております、それを学校には届けていないので、実際にどのくらい集まっているのかというのはちょっと分からないです。一応250が限度じゃないかなとは思っております。

【町田会長】

仮にそこまでいかなかったらどうするつもりですか。私は減額をしていきたいというのはそういうことを考えています。

【提案者】

そこをちゃんと学校に確認しないと。

【町田会長】

はい、わかりました。

【丸山彰委員】

実はその件で、今日ちょうど学校に申込用紙を持って行ったのです。情報ですと、町内会長さんからも協力を願わないと数が間に合ないというようなことを言っておられましたので、多分少ないと思います。

【町田会長】

はい、わかりました。他にいかがでしょうか。

【牧野嶋副会長】

事業内容を見せてもらいましたが、3番目の校歌オルゴールの作成ということで、550個作成の提案されているのですが、ともすると交付金のばらまきになりますよね。全戸に配布って形で。どうもこれでマッチングしたいんじゃないかなと、提案書の中から感じていたのですが。できることなら、そこも別予算で組まれた190万円の中で対応したらどうかと私は思ったのですが、どう思われますか。

【町田会長】

それと今の意見に付随して、私から追加で説明させてもらいますと、大概の人はご存じだと思いますけども、もともとこの地域活動支援事業の趣旨はですね、事業というか活動を行うためのものでございまして、この事業を行うに当たって、こういうオルゴールを購入というか、造らなければこの事業ができないということであれば別ですけれど、これが別にそういうふうに考えられませんし、今、牧野嶋副会長が言われたようなことで、「ばらまき」というかですね、個人に配布するというようなことになりますので、寄付金があるのであれば、そちらで対応されるのが1番よろしいのかなと私も思っております。

それから、もし仮に配布するというのであれば、全校生80名については、この予算の中で対応することは各委員がどう思われるかは分かりませんが、最低限

は、そのくらいのことは在校生にはしてあげてもよいのではないかなと私は思います。他にいかがでしょうか。今の件で何かご意見あれば伺いますが。

【提案者】

この地域の人っていうのは私もよいかなと思いますが、やはり子どもたちですね。それと先生方ですね、歴代の全部の先生方でなくても…っていう形の中で100個位は造らせていただければとは思っています。

【牧野嶋副会長】

はい、わかりました。

【町田会長】

他に委員の皆さん。よろしいでしょうか。もしなければもう1点だけ、これと関係ないのですが、今ほどお話のあった寄付金のことで、学校の整備に値する部分ですね。これにつきましては、学校教育課と刷り合わせというか相談はされましたか。

【提案者】

いや、まだです。こっちの提案につきましては、学校施設に張り付けるという形になりますので、それは刷り合わせしてあります。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

記念事業の会計の方については、まだです

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

まだ、打合せはしてございません。

【町田会長】

はい、わかりました。というのも、私が学校教育課に問い合わせをしたのは、要は何周年記念行事という予算立てというのは教育委員会の方であるのでしょうかということで、照会させていただきましたが、それはないということでございまして。ただ、寄付等で校舎を補修するような部分があるとすれば、それは当然市の建物を構う訳ですので、それについてはちゃんと相談して、それで付加価値が付けば、無償譲渡というような手続きをとらないとできません。というようなことを伺っておりますので、

もし仮に寄付金等でそういうことをやられるようであれば、そのような手続きを取られた方がよろしいのではないかなと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

【丸山彰委員】

この地域支援事業と寄付で集めた予算ですね。これは組み替えていいですか、さつき牧野嶋さんがちょっとおっしゃったのですけども、このオルゴールの58万円ですか、その金額と全体の130万円の中で190万円募ったとおっしゃいましたが、その組み合わせっていうか、組み替えていうのを考えていくのですか。

【提案者】

組み換えは考えておりません。環境整備っていいですか、教室・校舎等のスピーカーとか、それからスクリーンとかそういうのが大体、記念事業の予算の中で組み込まれていますので、こっちの地域活動支援事業費からこっちの方にくるとなると、記念事業の中の予算が足りなくなります。ですので、今の段階では私だけの一存では、ここを組み替えるってことはできません。

【町田会長】

今ので、よろしいでしょうか。

(よしの声)

他にいかがでしょうか。では、時間も押しているという事務局からのお話でございますので、以上でこの提案のご質問は終わりにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

— 「津－6 公共花壇管理による世代間交流事業」 提案者着席 —

【町田会長】

— ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） —

【提案者】

— 事業概要を説明 —

【町田会長】

ありがとうございました。それでは、この提案に関して、質問をさせていただきたいと思います。それで、まず説明のありましたように、私としても中部まちづくりセンターさんとお話した関係では、用地については県の用地というようなことを聞いておりました。最初にその件につきまして、県の関係の方と対応していただいているの

かということで、そののところを確認させていただこうと思ったところ、今ほど御説明の中で、対応は済んでいるということでございましたので安心した次第です。

もう1点は小学校の連携につきましても今ほどのお話がございます、その辺についても小学校は了解済みということで理解してよい訳ですよ。

(提案者 はいの声)

それともう1点ですが、この提案書の文章を読ませていただくと、花壇については2期、2か所あると書いてあるのですが、実を申し上げますと今回の9件の提案の中で、金額的に3番目に高い金額ですよ。そんなことで160万円ほどオーバーしているものですから、我々はこれからその金額につきまして対応を考えていかななくてはいけないと思いますと、1つだけの対応ということが可能なかどうか、その辺について聞かせていただければ、ありがたいなと思っているのですが。その辺はいかがでしょう。

【提案者】

1か所をブロックでして、もう1か所は木のままにというのはちょっと無理だと思います。写真も入れておきましたが、だいぶ腐食してしまっています。ですから、そうなれば、それを削ってしまうとなると、見栄えというかね、バランスがちょっとうまくないと思います。もし、できることであれば、継続事業か何かで、今年1か所にして、そして来年でも再来年も残りの分をしてもらうかということが本当は。ですからまあ、言ってみれば2か所ともブロックにした方が非常に見栄えもよいと思います。

ただ、私も話を聞きましたし、百何十万という超過の中で、これはそれの中でいえば微々たるものですが、この中に芝桜の補色があります。というのは、当初は本当にきれいだったのです。一方は白で一方は赤で。今はだいぶ色気が抜けまして、それでそれを少し補ってもらいたいというのがあります。ただ、その金額というのはせいぜい数万円程度なのです。でもその程度でも芝桜は全くなくなる訳ではないので、もし多少でも削るとすれば、この見積もりの中でいうと4万2千円になっていますけど、それにまだ関わる部分っていうのがあると思いますので5、6万円くらいは芝桜をやめれば出ると思います。

【町田会長】

わかりました。ありがとうございました。他に委員の皆さんいかがでしょうか。

【牧野嶋副会長】

この花壇の補修に関しては、素晴らしいことだと私は常々思っています。私が子どもの頃、40年前ですか、確かにあそこは道路でした。それが今は素晴らしい見栄えの良い花壇に管理されています。地元の間、私は戸野目ではないのですが、あそこを通らせてもらおうと、子どもたちもあそこを通って帰って行きますよね。そういうのに関してやっぱり道の景観ということ考えると素晴らしいことだと思います。戸野目の老人会の方々にずっとやってもらっているのは、すごくありがたいなと思っっているのですが。あの花壇は誰がやっているのだと、知らない人も地域には多いと思っますが、多分戸野目の老人会だろうとか、色々考えるでしょうけども分からないってところで。あくまで、保護司会の看板って大きく立っっているじゃないですか。あのようにな看板を立てて、「戸野目の町内で戸野目の子供たちと一緒に、このような素晴らしい花壇を造っっていますよ」というように披露していったらよいのではないかなと思っます。来年度、子どもたちの参加とか継続事業の中に含まれてはいますけども、ちょっと看板と立てるとか、そんなことも行ったらよいのではないかなと。逆に提案で申し訳ないですけど。素晴らしいことだと思います。

【町田会長】

他にいかがでしょう。

【丸山彰委員】

支援事業の中で今、160万円オーバーしているというようなことで、9事業ある内で歩み寄って減額していくのが大事かと思っます。非常に戸野目の景観がよいです。大賛成なのですが、これはさっき牧野嶋さんもおっしゃったように、継続事業という形にして、2つある花壇の1つを工事して看板を付けて、もう少し完璧なものにしていって、2年掛かりで素晴らしいものを造ったらよいということをお考えになられませんか。

【町田会長】

はい、わかりました。

【提案者】

看板の事ですが。長寿会と書かれた看板2が枚立っっています。

【丸山彰委員】

戸野目長寿会って看板立っっていますね。

【小川委員】

牧野嶋さんがおっしゃったように、子どもたちも手伝っているのであれば、そのこともPRできればよいですね。

【丸山彰委員】

そうですね。

【提案者】

継続事業と言われますが、一方が綺麗でもう一方は綺麗ではないというのは…。

【町田会長】

はい。分かりました。それは分かります。特に説明にもありましたが、人通りの多い所と認識しておりますので。他の提案も含めまして、検討させていただくということで、できるだけ皆様のご要望に答えるような格好で、委員の皆さんが理解していただければと思っていますので、よろしくお願いします。それでは、他に質問がなければ時間も押しているのですが、これでこの提案の質疑を終わりたいのですが、現場を見ないといけないと思うのですが、それは各々の委員の皆さんが都合のつく時に見ていただいて、それによって審査の採点をしていただくという考えでどうでしょうか。ということで、この件についてのヒアリングと現場確認は各々やりますので、立会は無しということで、ご了解いただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

【提案者】

あの、1点だけちょっとよいですか。実はあれだけの花壇なのですけれど、実は水場に不便しています。行って見てもらえると分かりますけど、四角で水場があります。あれが、下を用水が通っています。散水する時に、下が大きな升になっているので、これちょっと上げてちょっと水汲むってわけにいかないのです。老人会の人たちは、水中ポンプ持ってきて、散水するのに非常に苦労しています。今回小学校の子供たちにやってもらうってことを含めまして、そこに農業用の、よくあの…。

【町田会長】

貯水槽。

【提案者】

そうです。あれを脇に置いて、そこにとにかくこのポンプを入れておいて、子どもたちがひねってジョウロで散水ができるように考えています。

【町田会長】

はい、それは承知しております。ありがとうございました。

－ 「津－7 安全安心な地域防犯力の向上活動事業」 提案者着席 －

【町田会長】

－ ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） －

【提案者】

－ 事業概要を説明 －

【町田会長】

ありがとうございました。それでは質問する前に私からお話だけを申し上げておきたいと思います。今回全部で9件の提案がございまして、金額的には私どもの配分額が590万円というところがございますが、補助希望額ということで、提案された金額については748万3千円ということになりまして。約160万円、配分予算額に対してオーバーしているということでございますので、減額をさせていただかなければ、対応できないのかなというふうに思っております。というのは、今回の提案の中で一番金額の大きい事業でございますので、その辺お願いしたいなと思います。

それと、内容を見させていただきますと、防犯灯はですね、全体で495灯。ここに交換計画というのがございますけれども、495灯ございまして、その内の244灯を今回計画されているということでございます。それから、ひき続いて来年以降も計画をされていくというふうに理解しております。そういうこともございますので、予定としては244灯で出されているのですが、数を減らすことによって対応できるのではないかなと思っておりますので、その点を御理解いただきたいと思います。

【提案者】

はい。

【町田会長】

それから、壊れたときの負担については、今後町内会の負担になるということも確認させていただいてよろしいですね。

【提案者】

はい、そうですね。金額は先程も見させていただいたのですが、160万円オーバーということで、金額も一番大きいということでございます。私ども、津有全体のことでございますので、一応これは町内会長さんにまたお話しして、理解いただきたいです。できれば私の計画というか、少なくとも3年間くらい続けて、3年くらいで

全部を交換して計画を終わらせたいなど、というような考えではありますけれども。町田さんの方でそう言われれば、それもいたしかたないのかなど、というような考えでございます。

【町田会長】

はい。

【提案者】

何せこれ、津有全体の話でございますので、町内会長さんから御理解いただいて、どのくらいの配分になるか、私も計算してみないとわかりませんが、それは皆さんにお任せしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【町田会長】

わかりました。そういうことと、もう一つはですね。当然そうなってきましたと、仮に数が減って採択された場合も、このまま採択された場合も一緒なのですけれども、具体的にどこを改修するかということは、また町内会長さんの協議会の中で検討していくと理解してよろしいでしょうか。

【提案者】

はい、それは私どもの方で、いちいちここはいくら、というわけにも。また現状も分かりませんので、それは各町内会長さんにお任せしようという考えでいます。

【町田会長】

はい、わかりました。他に委員の皆さんで、御質問等ありましたら、よろしくお願いします。

【古川委員】

質問ではないですけど。ページ数ふってないですけど、10ページの右隣。下富川は13になっているのですけれど、15あるのですけど、防犯灯の数が。

【提案者】

15ですか。これはね、市の方の登録のやつを一応参考にして、調べて提出してあります。それでございますので、お宅の集落で特別付けているのか、それとも市の方で付けていただいたのか、それを私らも定かでないのですけれど。その辺、お宅の集落で、できたら調べていただきたいなど。あくまでもこれは、市から提供されたものを表にして、私ら調べてありますので。

【町田会長】

他によろしいでしょうか。

【太田委員】

お疲れ様です。この事業自体、全地域にするのは非常に良い事業だと思います。ただ、今日の日報のかわら版にちょっと出ていたのですが、高田地区でも同じようなことで住民との話し合いをしたいというような記事がちょっと出ていましたけれども。市の事業としてこれを推進するっていうような計画は、今のところないのでしょうか。

【提案者】

そうですね。それは、これと同じようなやつ。私達も真似した訳じゃないのですが、協議会で一昨日、新潟に行く関係で保倉地区の方とお会いしたら、保倉地区でもこういう感じと同じように3年計画で終わらしたということでございますし。隣の高土地区ですか、これも大体こういうような格好で、確か高土も今年で終わるのでないかなという話で。そこまで私らね、一応話はしてないですけどね、一応地域支援事業で、基本的には津有は津有でやって、何か地域の得策な活性化の意味でお金を使ってくださいというような趣旨のお金でございますので。今、太田委員もおっしゃった通り、市全体としてはそういう計画はないと思います。

【町田会長】

その件について、補足させていただきますと、この提案をいただきましたので、市の防災危機管理課というところと対話させてもらったところ、要するに、太田委員も御存じだと思いますけど、防犯灯については各町内の管理の部分と、市の管理の部分があります。町内管理の部分については市の予算を使って対応する事は無いという事ですので、これはもし仮に対応するのであれば、地域活動支援事業の中の予算を使って対応してくださいと。市の管理の部分については、手をかけることはできませんということですので、市としては現段階では、町内会の防犯灯まで手を出さず考えはないということでございます。という回答でした。

他にどうでしょうか。もしないようであればこれで、この提案につきましてのヒアリングを終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

【提案者】

どうもありがとうございました。

— 「津－8 戸野目スポ少 既存道具の老朽化に伴う道具更新と

【町田会長】

ー ヒアリングの方法について提案者に説明（津ー1）と同様 ー

【提案者】

ー 事業概要を説明 ー

【町田会長】

はい、わかりました。これから委員の皆さんから質問していただきますが、その前に私から確認しておきたいことがあります。基本的には今回野球とバレーを行うにあたっての必要な道具の購入であるということ。それと、老朽化に伴う道具の購入、それから新規の購入ということでしたね。

【提案者】

そうです。

【町田会長】

私もちょっと確認しておきたかったなというのは、指導者ユニフォーム5着ということだったので、指導者は何人かなというふうに思っておったんですが、今ほどの説明で11人ということでしょうか。

【提案者】

はい、バレーの指導者は11人。野球が5人。計16人で今指導しております。

【町田会長】

それで、野球部全部で28人という格好になっていすよね。ここの構成員というのは。これは、子どもさんの数のことですか。

【提案者】

そうです。4月1日現在、野球のほうは16人。内、女性が2人入っております。バレーのほうは12人です。

【町田会長】

そうですか。わかりました。この2点についてちょっと伺いたかったのと、もう1つは老朽化の道具と新規の道具の購入はこれの内容から見えるのでしょうか。

【提案者】

といいますと、とりあえず野球とバレーの方に2つに仕分けして、と書いてあります。更新の方については、まず野球から説明しますと木製のレーキと、ヘルメット掛

けスタンド、それからティーバッティングのネット、これが更新です。野球については、全て更新です。

【町田会長】

全て更新ですね。わかりました

【提案者】

バレーについては、ボールも一部は規格が変わったという事と、私も現物は見えていないのですが、もう相当長年使っておりまして順次更新という形の中で、指導者からお話がありました。

【町田会長】

そうですか。はい。

【提案者】

それから団員用のバレーパンツについては、10数年大会用に使っていて、ちょっとゴム紐が伸びてきたりして、ちょっと使用に耐えられないということで指導者の方から話がありまして提案させていただきました。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

ユニフォームにつきましては、新規です。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

はい。バレーのその他ってということで、マーカーパッド。マーカーパッドというのは、ジャンプした時にその場所に、ホップ、ステップ、ジャンプでいきたい。ボールを当てたりする、そういった物を新規という形の中で計上させていただきました。

【町田会長】

そうですか。はい、ありがとうございました。他の委員の皆さまお願いします。特別、よろしいでしょうか。皆さん、よく理解していただいていると思いますので、ということで、ありがとうございました。

【提案者】

ありがとうございました。どうも、よろしく申し上げます。

【提案者】

－ 事業概要を説明 －

【町田会長】

ありがとうございました。私から確認だけさせてほしいと思うのは、去年は他の地区で今回と同じような提案がございまして、採択させてもらったのですが、その時の内容を見ますと、今回比較させていただきますと、今回のこの事業の収支の関係なのですけれど、事業収支計画の支出のところですね、スベリ台購入費ということで48万6千円ということになっていまして。それで、搬入費と、組立と基礎工事含むと、こうなっているのですが、去年の場合はですね、移動可能なスベリ台ということで、基礎工事はなかったのですよね。ということで。今年は基礎工事が必要ということになりますと、動かない物なのかなというふうに私は認識したのですが、そうすると冬期間の管理等について、ちょっと複雑になるのかなというふうに思ったのですが。その辺はどのような物でしょうか。

【提案者】

はい、山本スポーツ屋さんですかね。ここから見積もりお願いしたのですけれど、内容を聞いたら昨年と全く同じだそうです。ただ、昨年の下富川から見ると随分高額ではないかということをお聞きしましたら、やはりアベノミクスとかそういう関係で資材も高くなりましたというような回答でした。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

基礎部分とかそういうのは、これはないと思うのですけど。

【町田会長】

そうですか。

【提案者】

私らも今迄どおりになると、撤収して春に出すというそなえでおります。

【町田会長】

そうですか。わかりました。他の委員の皆さんいかがでしょうか。

－ 少し間があり －

今、副会長と話したのですが、ベンチの購入が2台出てるんですけど、要は先ほどの160万円という大きなお金なのですが、仮に色々、LEDとかの関係とかも含めて考えていったときに、ベンチについては1台だけにしてもらうことが可能かどうかということなんですけど、小さい話で申し訳ないんですけど、いかがなものでしょうか。

【提案者】

そうですね、結構使われるのは高齢者の方で。まあ、十何人も一緒になると。皆さん御存じのとおりゲートボールは5人ずつの10人で試合をやります。すると勘定すると9名の方は残るわけですね。残る9名の方は交代でベンチ使うというような形とらせていただくのか。それとも、正直古いやつも残っていることは残っているのです。ただ、それもかなり老朽化しているというようなことをございますので、場合によってはそれを修理するというような形を、協議会の方でどうしても2台は無理だということになれば、それはそれでこっちの方で対処したいと思います。

【町田会長】

はい、わかりました。ありがとうございました。できるだけ、御要望に沿うような格好で考えていきたいと思っておりますが、最後の端数処理みたいなところになった時には、協力いただけるというふうに理解させておいてください。よろしいでしょうか。

【提案者】

はい。

【町田会長】

他に皆さんなければ、この提案につきまして以上で終了したいと思います。現地確認は特別する必要はないと思いますので、よろしいですね。

(よしの声)

以上でこの提案につきましては終わりにします。ありがとうございました。

【提案者】

ありがとうございました。

【町田会長】

御苦労さまでした。

【町田会長】

－ ヒアリングの方法について提案者に説明（津－1と同様） －

【提案者】

－ 事業概要を説明 －

【町田会長】

ありがとうございました。質問する前に確認というか教えていただきたいのですが。まず、今ほどもお話ありましたように、人間はあいさつに始まって、あいさつに終わるといふところだと思いますので、大変良い活動ではないかなと理解しております。それから事業費につきましては39万8千円ということでありまして、希望額については、13万2千円の提案ということでございます。それで、これについてはですね、高士区と諏訪区の両区とも関わっておりますが、この辺の採択の状況については、どんな感じだったのかということがまず1点、もう1つは内容見ますと「のぼり旗」の本数等が書いてありますけれども、配布基準というのかなんですか、見ますと津有区については、戸野目小学校と上雲寺小学校の2校があるわけですが。これが他の区と同じように、24本ということなので、私の気持ちとして若干、津有区としてはですね、お金が一緒だから本数も一緒なのよという話なのかどうか、その辺も含めてちょっと教えていただければありがたいなと思います。

【提案者】

はい、高士区と諏訪区に申請書を出させていただきまして、諏訪区の方は申請書が通ったという内容の文書をいただきました。で、高士区の方はまだ検討中だと思います。

【町田会長】

そうですか。はい、ありがとうございます。

【提案者】

あと、3つの区に分けたのですが、残りの数を計算した時に、雄志中学校も含めて5つがあるので、できれば学校近くにのぼり旗を立てたいと思ひまして。5×20という計算をさせてもらったのですが。

【町田会長】

そうですか。わかりました、ありがとうございました。他に、皆さんどうぞ。

【牧繪委員】

のぼり旗はずっと立てっぱなしになるのですか。

【提案者】

そうですね。一応4月から10月、11月くらいまでを目処に出させてもらっていますが、普段立てさせてもらって、学校の近くに立っていますので、学校の先生方に、風の強い日は中に入れてください。で、入れたらまた出してくださいとお願いしているのですが、なかなか忙しくて忘れちゃう時もあるって、出し入れが上手くいかないのです。台風とか事前に分かる時は前もって中に入れます。その他は、常時出しておくような感じになっています。

【牧繪委員】

ありがとうございました。

【町田会長】

他にどうでしょうか。それから、あれでしょうかね。ブルゾンとかベストですか。これについては50着作られるのですけど。これはどんな配り方になるのでしょうか。

【提案者】

これも、5つですので、10着ずつ。

【町田会長】

10着ずつということですね。そうですか。

【牧野嶋副会長】

育成会で集中管理するはずですよ。去年のハッピーと同じように。

【提案者】

そうですね。育成会で管理をしましてイベントの時に各々着て行くということになりますね。

【町田会長】

分けるわけじゃなくてね、分かりました。はい、ありがとうございました。他にどうでしょうかね。

特別ないようでございますので、この提案につきましてはヒアリングをこれで終わりにしたいと思います。現場確認も必要ございませんので、これでこの提案につきましては終わりということにさせていただきます。

どうも忙しいところ、ありがとうございました。

【提案者】

ありがとうございました。最後にお願いですが、さっきチラシを配らせてもらって。今後あいさつ運動の日に町内会の回覧でも配らせてもらったのですが、昨年もちょうと配らせてもらったんですが、ちょっと活動不足ということで今年はもうちょっと力を入れて10日の日は「あいさつ」っていうことで色々また考えていますので、地域の皆さんも10日に係わらず、子どもたちに声を掛けていただいて、近所同士でも声掛けていただいて、10日の日は明るい1日をスタートできるように、よろしく協力をお願いいたします。以上です。

【町田会長】

はい、ありがとうございます。どうもありがとうございました。

【提案者】

よろしくお願ひします。

【町田会長】

どうもありがとうございました。

－ 提案者退席 －

【町田会長】

それではですね、今日の地域活動支援事業9件についてのヒアリングは以上で終わりという事になります。

(採点票の説明と締め切りについての説明)

4 その他

【町田会長】

次に、協議会だよりの速報版についてなんですけれども、これは今回の会議の速報と、支援事業の審議内容に係わることでございますので。次の会議を6月の初めを予定していますから、期間が短いということ。それから、次回の会議が関連してきますので、一緒にまとめて出すということにしたいというふうに思います。

次の開催日時なんですけど、次回は6月5日（木）午後6時30分からファームセンター農事研修室で行います。

次回の内容につきましてはですね、皆さんから出していただいた採点票に基づきまして、一覧表を作ってくださいましてね、採択事業の決定と、それから補助額の決定等について次回の会議で決めて行きたいと。

私のほうからは以上です。その他、事務局から何かあれば、よろしくお願いします。

【小林主事】

－ 事務連絡 －

【町田会長】

他に委員の皆さんから何かありますか。

【丸山美和子委員】

ちょっと回覧に回す、ピンクのあれありましたよね。町内会長変わったから、配る分。自分の町内だけなら良いんだけど、他の町内にも配るもんだから。ちょっと、町内会長の名前入れて欲しいと思います。

【小林主事】

わかりました。

【町田会長】

他に。

【牧繪委員】

採点票の出し方ですが、ファックスでもよいですか。

【小林主事】

はい、大丈夫です。

【町田会長】

メールでも、ファックスでも大丈夫です。はい、他に。

【小川委員】

真面目な話。今日、我々ヒアリングしたのですが、一部の代表者の方々。一部で方々っていうのはおかしい言い方ですけど。どうも、明確に返答、答えが出てこないというのが、数ケースあります。これまた、その人の持ち分でよい場合もありますけど、せっかく我々も真剣に時間使って読み込んでいるんですけども、明確に分かるような答弁をしていただきたいのがまた反面、当然だと思うのですが。これをまた会長あるいは、副会長、あるいは事務局かと思いますが、そこら辺また強烈に指導を発揮していただければ、もっともっと良い事業になっていくのではないかなと思っています。それを一つ要望として、希望として、今日の評価として何かそう思いました。以上です。

【町田会長】

なかなか難しいですね。

【牧野嶋副会長】

2分ヒアリングの時間、8分の質問時間ということは提案者が当日入って来られる時に説明はされていますよね。

【小林主事】

当日ではなくて、ヒアリングの案内文書で連絡してあります。

【牧野嶋副会長】

文書とかじゃなくて、入って来られる時にそれ、一言言った方がよいのではないかな。チーンって鳴っても意味分からない人がいたようでしたし。

【町田会長】

いや、あれは俺が悪かったから。わかりました。小川委員と言わず、そうなのだよね。

【小川委員】

まあ、その辺で笑って、まあ、そのぐらいにしとくかいねってなっちゃうけどね。毎年毎年では、何か発展性がないから。ただ、証言どおりにやっているのでは、私はちょっと厳しいかなと思うだけです。

【町田会長】

ある部分、ひょっとしたらあれなのだよね。出せばみんな対応してもらえないかという安直な考え方を持っている人達も多いんだよ。そこはやっぱり、うちとしては問題じゃないかなと思うのだけどね。だから、その辺は今言われるように、我々も反省して、その辺きちんと対応できるようにしてほしいということを、またお話していきますので。いずれにしろ、また出してくるものをよく吟味して出してくれるとありがたいけど、ギリギリになってバタバタとして出してくるものだから。多分ね。それと、個人でなくて、少なくとも5人以上の人が出してくる話になっているのだから。その団体の中でどれだけ検討しているかという部分もあるんだよ。ある人が任されてこれでこうやって出してくるから、じゃあ責任を持って明確にこれはこうですって言えない部分があるんじゃないかと思うんだけど。それでは組織活動になってないのではないかっていう気が私はしてるわけ。それはこれから、皆さんの力を借りながら、というか皆さんにもお願いしながら対応していくよりしようがないかなと、思いましたけど。まあ、良いお話を聞かせていただいて、ありがとうございました。

他に、どうでしょうか。無ければこれで終わりにしたいと思いますが。

5 閉 会

【町田会長】

それでは、本日の議題は全て終了しましたので、以上をもちまして、本日の会議を終了したいと思います。皆さん、お疲れ様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。